



◆たかはし・もとき 2006年自治医科大学卒。地域医療、県立中央病院、津山中央病院などを経て、2018年から現職。

●日本整形外科学会専門医。

●市出身。37歳。

節に替えることで痛みが治まり、歩行能力が改善する。それぞれ手術時間は数十分〜2時間程度かかる。

―術後は。

傷の痛みには痛み止めやブロック注射などで対応する。立つ練習は術後の翌々日から始める。人工股関節は無理な方向に動かすと脱臼のリスクがあるため、理学療法士が注意を払いながらリハビリを行う。基本的に入院期間は3〜4週間。―気を付けることは。

■ 滝宮総合病院整形外科

医師3人体制で診断・治療に当たる。骨折、人工関節、手外科、脊椎手術などを行っている。年間手術件数は300件程度。

所在地：綾歌郡綾川町滝宮486

電話：087 (876) 1145

http://www.takinomiya-hp.com/

例もある。

―痛みを放置すると。

痛みの影響で活動性が下がってしまう。動けないことで筋力が落ち、さらに関節痛が悪化するなどの悪循環に陥る。つらい痛みが続いて引きこもりやうつにな

―どのような手術か。

股・膝関節痛の治療

まず保存療法から

手術はタイミングをみて

中高年になると多くの人が悩まされる股関節や膝の痛み。放っておくと痛みが増すだけでなく、活動性が下がることで引きこもりになる人もいるという。人工関節に置き換える手術などで痛みを取り除く整形外科医。患者の要望にどのよう

―股・膝関節が痛む理由は。

股関節で最も多くみられる原因は、骨盤側で関節の受け皿の役割をする「臼蓋」が先天的に狭い「臼蓋形成不全」。大腿骨の頭部

分が受け皿にきれいに収まらず、股関節に負荷がかかり痛みが走る。また、膝は加齢とともに軟骨がすり減り痛みを生じることが多い。このほか、骨折などで

るケースもあれば、車いす生活になる人もいる。

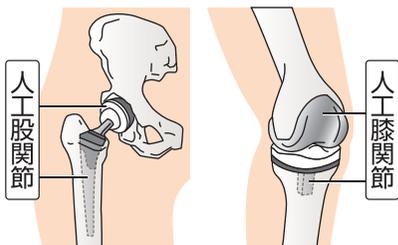
―治療方法は。

まずは、手術を施さない保存療法を試みる。関節まわりの筋肉を鍛える運動療法や鎮痛剤により痛みを軽減する。股関節の痛みに関しては毎日の定期的なジグリング（びんぼつゆすり）

股関節の手術は傷ついた関節の骨や軟骨を取り除き、人工関節に置き換える「人工関節置換術」を行う。

関節置換術」を施して膝も同じ手順で進める「人工膝関節置換術」を施している。股関節も膝の手術もコバルトクロム合金やチタン合金などの金属と軟骨の役割を果たすポリエチレン製の器具でできた人工膝関

人工関節概要図



骨を切除した部分にはめ込む

―患者とどのように向き合う。

早期から「高齢だから」と人工関節の手術を諦めてしまおう方が多い。患者の要望を大切にしつつ、日常生活を痛みなく過ごせるよう、手術には適切なタイミングがあることを懇切丁寧に伝えていきたい。これからも医師やリハビリテーション科と連携し患者の早期回復に努めていく。